

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7803	(H.24)No.	7803
-----------	------	-----------	------

事務事業名	収塵車管理費(経常分)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
伊賀南部衛生組合事務局	業務室	酒井 隆郎	0595-53-1120
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2 循環型社会の創造
	施 策	3 廃棄物処理
	小 施 策	1 ごみの適正処理
重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	901101
伊賀南部環境衛生組合一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 環境衛生費	収塵車管理費	
項 清掃費	(小事業名)	
目 収塵車管理費	収塵車管理費(経常分)	

3. 事務事業の概要

事業概要
管内の燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみの収集をはじめ粗大ごみ受付センターで集約された粗大ごみの各戸収集など、市民ニーズに対応した収集を実施。

めざす効果(事業目的)
収集業務の一部民間委託するなど、ごみの排出状況や資源ごみの排出量に応じた効率的な収集体制の再編 ごみの適正な排出及び減量化を図る。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	・ごみ収集(直営11台、委託9台)...可燃ごみ(一部)、不燃ごみ(一部)、容プラ、粗大ごみ、資源ごみの直営収集 <委託> ・可燃ごみ・不燃ごみ収集業務委託 153,681千円 ・指定ごみ袋製造管理業務委託 28,448千円 ・指定ごみ袋手数料収納事務委託 8,242千円 ・粗大ごみ収集受付業務委託 4,610千円	・ごみ収集(直営9台、委託11台)...可燃ごみ(一部)、資源ごみ、不燃ごみ、容プラ、粗大ごみ、の直営収集 <委託> ・可燃ごみ・資源ごみ収集業務委託 181,343千円 ・指定ごみ袋製造管理業務委託 31,000千円 ・指定ごみ袋手数料収納事務委託 8,300千円 ・粗大ごみ収集受付業務委託 4,650千円	補助金・交付金	その他 ()		
直接事業費	222,273千円	254,534千円	228,615千円	253,115千円	253,115千円	
財源内訳(千円)			253,115千円			
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
その他(ゴミ袋手数料)	126,082	123,880	120,000	120,000	120,000	
一般財源	(0) 96,191	130,654	133,115	133,115	133,115	
人員						
職員	28.18人	22.18人	20.40人	20.40人	20.40人	
臨時職員等	2.50人	2.50人	1.50人	1.50人	1.50人	
概算人件費	(0千円) 209,964千円	166,164千円	151,470千円	151,470千円	151,470千円	
+ 総事業費	(0千円) 432,237千円	420,698千円	381,785千円	404,585千円	404,585千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	トン	13,014	11,597	11,427	11,397	11,368.0
	実績		10,860	10,602	10,443	10,508	
活動指標	目標	トン	1,857	1,612	1,580	1,576	1,572
	実績		652	669	675	805	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
スムーズに収集の一部民間委託が実施できた。	現状に見合ったスムーズな民間委託への移行ができる体制の構築と検証。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
清掃業職員の退職者不補充による収集業務の段階的な民間委託を図る。	事業費の精査を行い、民間委託を含め効率的な収集を行うこと。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	・ごみの排出状況に合わせた収集体制の再編。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	・新計画の実施や現行の計画見直し時において、当初からの収集体制や処理処分を含めた検討が必要である。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	・市民に対するごみの適正排出や分別の啓発 ・資源ごみの分別方法の再編にかかる検討

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項